くださる方がたくさんいました。「おはよう」と元気いっぱいのあいさつをしてくださる方がたくさんいました。錦江町には豊かな自然と豊かな心を育んでくれるたくさんの方々がいます。この町に生まれて良かった、この町で育って良かったと思えることは私の誇りです。現在でもこの町に帰ってくる度に、懐かしさと温かさに包まれます。錦江湾に沈む日本一の夕日を見て「なんつぁならん」と感じられる私はいつまでたっても錦江町民であると思っています。

最後になりましたが、今後は成人として自分の行動に責任を持ち社会に貢献できる人になるように努力していきます。

成人を迎えて

荒木　奈津美（東中郡自治会）

私は昨年六月、母校である田代小学校で教育実習をさせて頂きました。私達が在学中に建て替えられた校舎は、あの頃は全てが新しく傷一つありませんでしたが、八年もの月日が流れたくさんの後輩達が過ごした証が所々にありました。そして数々の思い出がよみがえりました。

小学生の頃はリードバンドと柔道をしていました。泣き虫で負けず嫌いでしたが、なぜかうんていが苦手でいつも最後まで出来なかったのを覚えています。中学生になる時柔道を辞めようかと迷いましたが、そのまま続けることにしました。その影響で中学校時代はずっと短髪でした。そして早朝ランニングが苦手でした。中学生ともなると行事などは生徒主体で、行事を一つ乗り越える度に少しずつ成長した私達ですが、受験前になかなか自覚がわかなかった時に、先生に一喝されたのを覚えています。そして私は鹿屋高校に進学しました。毎朝六時前に家を出て、帰りは夜の八時前のバス通学で勉強はついて行くのに必死でしたが、体育祭では三年間応援団の副団長をし、柔道部でもキャプテンを務めました。ケガをしたり、学校に行くのが嫌な日もあったりしましたが、先生方の指導や仲間が支えてくれたおかげで柔道で弐段を取り、無事卒業もできました。

そして現在、私は幼い頃からの夢である保育士になるために鹿児島女子短期大学に通っています。サークルでおはら節を踊ったり、小学校や保育園、施設で実習をさせて頂いたりと今まで体験したことのないことだらけで充実した学生生活を送っています。また、昨年は、この文化センターの舞台でも踊らせていただきました。そして私は無事に今日という日を迎えることができました。

厳しくも優しいお父さん。私たちがより良い環境で柔道や勉強ができるようにしてくれました。優しくて少し心配性なお母さん。毎朝五時起きで私達の弁当を作ってくれたり、短大に行ってからは先輩保育士としてアドバイスしてくれたりしました。今までお世話になった先生方。実習を通して、先生方の大変さ、偉大さを身を持って感じました。そして、ケンカしたり支え合ったりしてきた友達。一緒に様々なことを乗り越えてみんなでここまで成長しましたね。私は本当に数え切れない人達に支えられているということに改めて気付かされました。この春から私は地元に帰り、保育士として新たなスタートを切ります。感謝の気持ちを忘れず頑張りたいと思うのでこれからもよろしくお願いします。

成人を迎えて

西元　裕樹（下自治会）

中学校を卒業し、自分の夢・目標に向かって旅立った仲間と共に成人式を迎えることができ、とても嬉しく思います。私たちがこうして成人を迎えることができたのも家族をはじめ、先生方、友人、出会った全ての方々のおかげです。深く感謝いたします。これまでの人生を振り返ると私は剣道に没頭してきました。私は、これまでの剣道生活を通して礼儀はもちろんのこと、努力すること、あきらめないこと等の精神を学んで来ました。そこで、私が一番学び、感じてきたものがあります。それは「感謝の心」です。今の自分があるのも今までお世話になった方々がいるからこそです。特に家族には感謝の気持ちでいっぱいです。いつもありがとうございます。

さて、私は現在、日置市にある鹿児島県立農業大学校に在籍し、肉用牛科を専攻しています。そこで将来、肉用牛経営を目指している仲間と楽しく、肉用牛についての経営技術等を学習しています。

私は、四月から鹿児島きもつき農協に就職し、畜産指導員として多くの勉強をさせて頂こうと考えています。また、農家のためになる仕事を行い、みんなが過ごしやすいような環境づくりを行っていきたいと考えています。

私の将来の夢は、生まれ育った錦江町田代で畜産指導員として農家の方々のために頑張っていき、錦江町田代で地域貢献することです。私は、生まれ育った地元に恩返しがしたいと思っています。これからの時代、私たちには震災の問題、放射能の問題、TPPの問題と多くの試練があります。これに負けない地域づくり町づくりを行っていくのは私たちではないでしょうか。

これからは成人として一人の大人となるわけですが、責任ある行動、言動をし、夢実現のために日々精進していきたいと思います。